

## プラセンタ注射について

「プラセンタ」とは「胎盤」のことです。胎盤は胎児を育てる臓器です。そんな胎盤にはタンパク質やアミノ酸、核酸、ビタミンなど、細胞を育て、活性化させる栄養素がたいへん豊富に詰まっています。プラセンタには体内の復調作用があり、各部各所を**本来あるべき状態に戻そうとする力**を発揮します。その作用ゆえに古くから医薬品として利用され、紀元前・古代ギリシャ時代に医師ヒポクラテスも治療に用いたという記録がのこされています。また、クレオパトラやマリー・アントワネットも愛用していたともいわれており、近年、その**美肌・エイジングケア効果**が非常に注目されています。

ヒトや動物の胎盤（プラセンタ）から抽出されたエキスの有効成分を、注射・内服などにより体内にとりこむ治療の総称を『プラセンタ療法』といいます。当クリニックで使用するプラセンタ注射薬はラエンネック（株式会社 日本生物製剤）です。市販のプラセンタ（動物由来）とは異なり、日本国内の産婦人科で健康な母親から正常分娩で生まれた胎盤を使用して作られたものです。医療用医薬品として1974年に厚生労働省から肝機能改善剤として認可されています。適正と認可された使用方法（皮下又は筋肉注射）で投与を行っています。

### ◇ プラセンタ治療で効果が期待される疾患等

- 肝臓疾患（脂肪肝、肝硬変、アルコール性肝炎、ウイルス性肝炎）
- 胃腸疾患（胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃下垂、便秘、貧血、糖尿病）
- 更年期障害、生理痛、生理不順、冷え性、月経不順
- 関節痛、腰痛、肩こり
- 花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎
- 不眠症、自律神経失調症、頭痛
- 免疫力減退、リウマチ、膠原病、放射線障害、風邪、癌、精力減退、視力減退、視野狭窄、白目の濁り、嗅覚減退、味覚減退、耳鳴り、頭痛、アルツハイマー
- 美容目的（美白、美肌、シミ、シワ、たるみ）

特に慢性的な症状、体調不良が続いているような方に有効です。



Q. プラセンタ注射はなぜ色々な効果があるのですか？

プラセンタ注射には、アミノ酸、核酸、塩基、ミネラルなどが、含まれていることは分かっていますが、現時点では有効成分としての特定の物質は同定されていません。今の所、分かっている成分と未知の成分が複合的に作用して色々な効果があるのではないかと考えられています。

#### ◇ 副作用について

主な副作用は、注射部位の痛みや硬結、過敏症（発疹・発熱・掻痒感など）ですが、保険の適用が認可されてから40年以上、これまで一度も重大な副作用は報告されていません。

Q. 感染の危険性はないの？

プラセンタ注射薬は血液製剤ではありません。そう誤解している人が多いようですが、プラセンタ中のホルモンや血液は、製造過程で完全に除去されるため、製剤には含まれていません。その後、プラセンタ注射薬はウイルスや細菌が製品に混入しないようにするため、塩酸による加水分解など、何工程もの安全処理が行われ、各種感染症の汚染がないことが検査で確認されて初めて、製品として販売される医薬品です。

#### ◇ 留意点

厚労省の指針により、**プラセンタ注射をうけた人は、献血ができません。臓器移植ネットワークと角膜バンクについても臓器提供は原則として見合わせるようになっていきます。骨髄バンクの場合は、ドナー登録は受け付けますがマッチングは行わない保留状態となります。**

ラエンネックを含めヒト胎盤を原料として製造される医薬品の投与により、感染症が伝播したとの報告は現在まで国内・海外ともにありません。しかし変異型クロイツフェルト・ヤコブ病等の伝播の理論的なリスクを完全には否定できないためです。

本邦では、過去に輸血後肝炎や薬害エイズの問題などが起こってきたこともあり、社会的に慎重にならざるを得ないことが、この措置の背景にあると思われます。

以上の理由から、当クリニックではプラセンタ注射を受けて頂く際には、有効性及び安全性とデメリットやリスクがある点を理解した上で、**同意書にサイン**をして頂くこととなります。

#### ◇ 投与方法

当クリニックでは皮下もしくは筋肉内注射を行っています。

皮下注射は筋肉注射に比べて吸収速度がゆっくりなので、穏やかに効いてきます。筋肉注射と比べると痛みが少ないです。筋肉注射は薬剤の吸収率が高いのですが、皮下注射と比較すると注射の痛みがあります。

- プラセンタ固め打ち注射

具体的なお悩み改善を期待される方におすすめしています。プラセンタ注射を1～2ヶ月の間で集中して行う方法です。最大限の効果を引き出すためには、まず、体内のプラセンタ量をマックスの状態にキープすることが大切です。

週2～3回 1回3アンプルを1～2ヶ月間

- 標準治療

症状が落ち着いてきた方で、しっかりその状態を維持したい方、美容目的で早く効果を実感したい方などにおすすめしています。プラセンタ注射を1回行った時の効果の持続時間はだいたい2～3日と言われておりますので、週2回くらいで続けることをおすすめします。

週2回 1回2アンプル

- 患者様に応じて

患者様の状態、希望に応じて施行します。

週1回 1回2～3アンプル、週2回 1回1アンプル など

あまり注射を打ちたくない方にはプラセンタのサプリメントもございます。

なお、プラセンタ注射の効果には個人差がありますので、ご了承ください。

注射をはじめてから効果が出るまでの期間にも個人差があります。効果を感じ



られない場合、量や回数を調節してみて、それでも全く効果が感じられない場合は、治療を中止して下さい。

☆ 費用（税込価格） **全て自費診療になります。**

- 1アンプル 1,500 円  
2アンプル以降1アンプルあたり 1,000 円
- 4週間分のセット価格 こちらがお得です。受付から4週間有効ですが、患者様のご都合で来院されなかった分は返金や期間の延長は出来ませんので、ご了承ください。
  - 固め打ち週3回セット4週間分  
(週3回1回3アンプル4週間 36アンプル分)  
通常42,000円のところ22,000円(1アンプルあたり611円)
  - 固め打ち週2回セット4週間分  
(週2回1回3アンプル4週間 24アンプル分)  
通常28,000円のところ18,000円(1アンプルあたり750円)
  - 標準治療セット4週間分  
(週2回1回2アンプル4週間 16アンプル分)  
通常20,000円のところ15,000円(1アンプルあたり937.5円)
  - 週1回3アンプルセット4週間分  
(週1回1回3アンプル4週間 12アンプル分)  
通常14,000円のところ13,000円(1アンプルあたり1,083円)
  - 週2回1アンプルセット4週間分  
(週2回1回1アンプル4週間 8アンプル分)  
通常12,000円のところ10,000円(1アンプルあたり1,250円)

三澤整形外科スポーツクリニック 院長

4

